

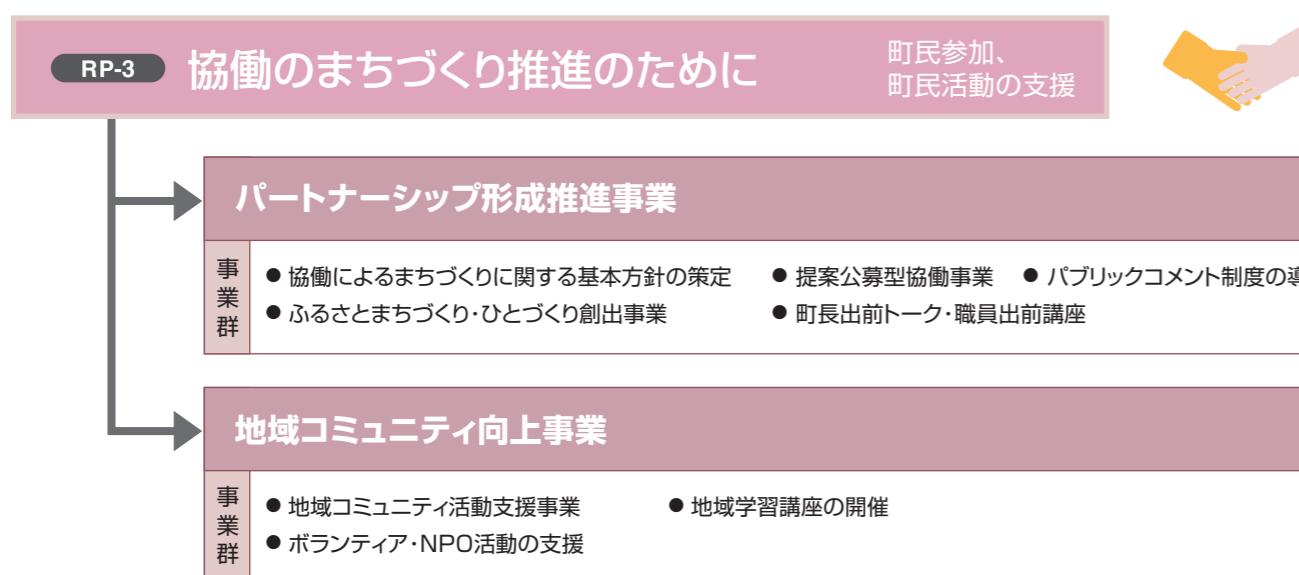
RP-3 協働のまちづくり推進プロジェクト

【基本的な考え方】

地方分権社会として確固たる基盤を築くためには、行政だけではなく地域ぐるみで様々なパートナーシップを形成することが必要です。特に、まちづくりに参加したいと思う町民が主体的、自立的なまちづくり活動を活発に展開できるように、その受け皿となるボランティア組織や地域団体等が存分に活躍できるような環境整備を進めることが重要です。このため、リーディングプロジェクトをはじめとする本町のまちづくり全般に渡って多様な主体の間の信頼

関係をさらに高めていくという観点から、行政施策の企画・立案から実施の様々な段階において、町民参加の機会を積極的に設けていきます。

また、公共サービスを考えた場合、そのすべてを行政が担うよりも、むしろ町民自らが「公共」の領域に参加することが求められる時代がやって来ています。本町においても、町民満足度向上という観点から、まちづくり協働の担い手となる町民の活動を積極的に支援していきます。



第4編 資料編